

瞬間の出会い



河 辺 杲

ある日、三歳児のクラスの子どもたちが砂場で遊んでいるのに心ひかれて近づきA男くんの側にしゃがみ込みますとA男はちらっと私を見ましたがすぐに水ようかんの空鐘のようなものに砂を手でつめて、ぼんぼんと手のひらで叩くようにして砂場の枠のところに鐘をふせて鐘の型のものを作りました。前日に水をうって置いてあったようで表面だけは少し白く乾いています。砂の中の方は黒く湿っていますから鐘の型押しをすると鐘型の砂のかたまりの下の方は湿った砂で鐘の型がしっかりと出来るが、上の方は砂が乾いているためすぐくずれてしまいます。それでもそのことを気にしていないかのように二、三個見ているうちに作っていました。私はいつの間にかA男の行動に誘われるように同じ容器を手にして同じことをはじめようとしましたが、同じまねをするのであれば……湿った砂でしっかりとした美しい型のものを作った側に作れば、何か感じるかも知れない……と考え側に作ってみました。少しも反応なく同じことをくりかえしています。そのう

ちに……とも考え作りつづけていました。

ちょうどその時B君が側に立って私とA男の砂の型押し遊びを見ているのに気がついたので、「ほくもやりたいのであればいっしょにやろうよ」と誘おうと思ったのですが、ふと見ると片手に小さなスコップをもっているのに気づき自分でなにかやろうと思っているかも知れないと思いなおしてそのままにして遊びをつづけました。A男はその間四、五個作ってはこわしてまた同じことをくりかえしていました。何分か過ぎて私の肩を小さな手が叩くのでふり返えるとさき程のB男だったので、「何か」とたずねると私の側にしゃがみ込んだかと思うと小さなスコップを力強くポンと砂の上にふせるようにして叩き、そのスコップをさっと上げて砂のところにはスコップの型ができたのを指さしてほらおじさんのしているのはこういうことだろうと言わんばかりに私の顔をじっと見つめています。「おやおもしろい型を見つけたね」というと今度は立って片脚で思い切り砂をふんでパッと脚をあげ靴型ので

きたのを指さし「ほら」とこんな型もできるよと見せてくれました。「あら、ほんとうにおもしろいこと考えたね」と言っただけで、A児とB児がたのしそりにスコップや靴の型おしを砂の上に作っているのをながめ考えこんで終いました。A児がはじめた鐘の型押しそれに参加して同じことをはじめていた私たちの型押しの原理のようなものをB児がいつの間にか直観的に把握しているのに啞然として終ったのです。湿った砂でしっかりとした美しい立体をつくることへ指向させようと考えてみたり、じっと立って見ている子どもと同じ経験をさせてみようと思ったりもしたことは全く違った角度からのものと新鮮な、しかもものの本質や行為の原理に近いような子どもたちの行為の意味発見に驚かされて日頃保育の中で保育者をもつ指導目標や経験内容や誘導などの指導方法が平板な型通りのものに終って終うのもこの辺にあるのではないかとあらためて考えさせられたわけです。

その後しばらくして手で砂を握りかえしかけていたA男は園庭のすぐ近くにある鉄道を列車が通過するのを察知して、すぐ手をとめ中腰のようにかがみこんだ姿勢になって列車の方をじっと見すえ「客車だ」とつぶやいてしゃがみました。その瞬間私は前の灌木で列車が見えていないのに気づいて「ぼく見えた」とたしかめてみました。するとまだ通過している途中だったので今度はじっと立ち上がり背のびをするようにしてじっと見つめてやおらしやがみ「見えた」とぼつり言っただけのまま再び砂掘りをはじめました。私のことばかけに再度A男はいかにもつまさき立つかのよう

にして見なおしましたが彼の背の高さ以上にある灌木に前方をふさがれて列車は全然見えていなかったのです。

彼が観たものは音だったのだと気づかされなにかじつと音のすぐ方を見すえた時の姿は星見童子の立像のように印象づけられ「観音」ということをあらためて考えさせられたわけです。

この日は三歳児のA君とB君との瞬間とでもいいようなわずかの時間の出会いの中でいろいろ感じさせられ考えさせられた一日だったわけですが、最近私はよく写真家の人たちが常に心がけている決定的瞬間を撮るということを保育の中に置きなおして考えてみたらどういふことになるだろうかと思っています。

また私は人との出会いの中で「いま・ここ」を大切にしたいと努めているがなかなかそこに徹し切れない自分を感じています。が、数うてばあたる式で子どもと接するよりも子どもとの出会いの中でひとつ決定的な瞬間の出会いを心がけて見たいと思いません。

「あの時のこと」、「このこと」を何時言おうかと過ぎ去っていく時間の流れの中で考えているうちに言うチャンスを失って終っていたりして子どもに即くことができないことや、早手廻しに動きすぎて子どもが廻り道や時間かせぎをしていると能率的、効率的、計画的にならないとあせってみたりすることが多い保育の中で保育者やおとなが「いま・ここ」に生きる生き方を心がけて見たいものです。

(洗足学園短大)